

1) 【輸送の安全に関する基本方針】

輸送において、全従業員が「安全を全てに優先」し、企業一丸となり「社内教育」「広報活動」を通じて「安全風土」をより強固にすることが事業経営の根幹です。

【輸送の安全に関する基本方針に基づく取組み（周知方法情報交換）】

- 全従業員に対して「関係法令等の遵守」と「輸送の安全の確保」が「経営の根幹」であるという意識を徹底させ、目標実現のために輸送の安全に関する方針の策定に主体的に関与します。
- 輸送の安全に関する取り組み状況等の情報について公表します。
- 輸送の安全に関する基本方針及び目標・計画を策定、全社員一丸となり輸送の安全向上に努めます。
- 運行管理体制及び車両管理体制の充実強化を図り、法令に定められた運行管理及び車両管理が適切に機能するよう配慮します。
- 参加・体験・実践型の研修・指導等の実施により、運転者の能力向上を図ります。

2) 【輸送の安全に関する重点施策の達成状況】（2025年度）

- 重大事故（自動車事故報告規則第4条）発生件数は、0件のため目標を達成しました。
- 自動車事故（有責）発生件数は、車両台数比で前年対比目標の44%削減（前年実績91件）（目標51件）に対し、35%削減（実績72件）のため、目標未達となりました。
- 安全に関する重点施策3項目で、目標未達となりました。

3) 【輸送の安全に関する目標】（2026年度）

- 2026年度 重大事故（自動車事故報告規則第4条）発生件数 0件とします。
- 2026年度 自動車事故（有責）発生件数 前年対比 29.2% 削減とします。
- 2026年度 労働災害発生件数 0件を目標とします。

4) 【輸送の安全に関する重点施策】（2026年度）

- 重大事故のゼロ継続推進
- 【事故原因】後方不確認の事故（バック事故含む）件数 前年比 34.8% 削減
- 【事故原因】側方（左）不注意の事故件数 前年比 22.2% 削減
- 【事故原因】その他の事故件数 前年比 29.0% 削減

5) 【経営資源投資】

投資額 **84,108,763円**（前年度 66,830,280 円）

全車両ドラレコ入替導入に伴うリース料・通信料、SAS検診オンラインシステム導入、1366教育システム導入、バック事故防止装置導入（バックセンサー・側方カメラ）

6) 【輸送の安全に関する目標・重点施策に必要な業務の継続的改善】

- ① 輸送安全に関する「重点事故対策教育」「安全研修」活動の取組みを毎月継続実施し報告致します。
- ② ヒヤリハット情報共有、リスクアセスメント収集、KPI分析取組みにより更なる拡大実施します。
- ③ 自社装備のドライブレコーダデジタコ評価での個人指導の定期的な指導を継続実施します。
- ④ 自社装備のデジタコ違反回数分析、波状運転の高揚を行い事故防止を行います。
- ⑤ 社内講習による管理者の安全への高揚を図り、従業員へのミーティングを通じて有効活用実施します。
- ⑥ 運輸安全マネジメント取り組みにより、「PDCA」を徹底してまいります。
- ⑦ 健康診断・SAS検診と二次検診の完全実施にて、社員の安全と健康を継続実施します。
- ⑧ 「働き方改革」関連法施行、「年次有給休暇5日取得」「労働時間外把握管理」を実施します
- ⑨ 「ながら運転」「睡眠不足」点呼時の適正なチェックと指導教育実施します。
- ⑩ 自社車両に順次バックセンサー導入、装備を推進しバック事故防止を図ります。

7) 【輸送の安全に関する周知方法・情報伝達】

- ① 各営業所の掲示欄に「安全衛生計画」「安全に関する情報」「実施計画」の掲示を行います。
- ② 現場巡回し運輸安全マネジメント会議において『目標』『重点施策』の周知徹底を行います。
- ③ 社内イントラネット等による情報共有と確保を行います。

8) 自動車事故報告規制第2条に規程する14項目に該当する事故に関する統計

2025年度は該当ありません。